

かわさき 図書館だより



第 49 号
令和元年6月1日発行

図書館ホームページ: <https://www.library.city.kawasaki.jp/>

図書館ホームページの『お気に入り機能』について

これから読みたい本や、気になる本などを『お気に入り資料』として登録できるようになりました
(※CDも登録できます)。

また、現在借りている本を登録すると読書記録にもなります。

- ▶「蔵書検索」「貸出状況照会」「予約状況照会」から、ご登録いただけます。
- ▶登録件数に上限はありません。
- ▶登録資料については、ご本人のみ確認できます。
- ▶「お気に入り資料照会」で、各登録資料について予約申込することができます。

お気に入り資料照会									
トップページ > ログイン > メニュー > お気に入り資料照会									
該当件数: 3件									
10件 表示件数変更 登録日の新しい順 表示順変更									
No.	タイトル	著者名	出版社	出版年	予約数	登録日	予約	削除	
1	川崎市統計書 平成30年(2018年)版 第51回	川崎市総務企画局情報管理課統計情報課編	川崎市	2019	0	2019年5月17日	予約する	削除	
2	20世紀のかわさき 100年を振り返り 新世紀かわさき 市民がらがわさき100年	川崎市市民局広報課/企画・編集	川崎市	2001	0	2019年5月17日	予約する	削除	
3	金魚屋	岡本 かの子/著	川崎市市民ミュージアム	1998	0	2019年5月17日	予約する	削除	

▶『お気に入り資料』の登録方法(PC版)

- 1 資料を検索し、ご希望の資料の「タイトル」をクリックします。
- 2 「資料詳細」画面の一番下にある「お気に入りに追加」ボタンをクリックします。
- 3 「お気に入り資料登録」画面から「カード番号」と「パスワード」を入力し、「登録する」ボタンをクリックします。
- 4 「お気に入り資料への登録が完了しました」と表示され、登録が完了となります。

※スマートフォン版からも登録できます。

※この他のご利用方法については、お近くの図書館または図書館ホームページでご確認ください。

注意!!

- ◆川崎市内に所蔵のない資料についても『お気に入り資料』として登録できますが、図書館ホームページからの予約はできません。
- ◆不明等により所蔵がなくなった資料も含め、『お気に入り資料』については、ご自身で「削除」するまで登録はなりません。

令和元年度 地域資料関連企画展示「岡本かの子の文学」(仮)

今年は岡本かの子生誕130年の年にあたります。
このことに因み、市立図書館では、現在の高津区内にある大貫家で幼少期を過ごし、その後歌人・小説家として活躍したかの子の足跡を、図書館所蔵資料等を通じてたどる企画展を開催します。

この企画展については、7月から市内各図書館(分館・閲覧所を除く)の巡回を開始する予定です。

詳しいスケジュールについては、後日図書館ホームページ等でお知らせします。



第38回

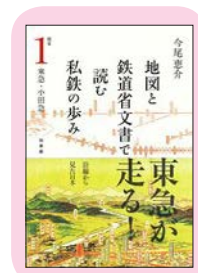


このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は、東横線開業90周年を迎えた東急線に関する本を集めてみました。

『地図と鉄道省文書で読む私鉄の歩み 関東1 東急・小田急』

今尾恵介／著 白水社 2014年

昔から鉄道は許認可事業となっているため、鉄道会社などから数多くの書類が監督官庁に提出されていますが、鉄道史研究家の著者が、その文書と地図から鉄道会社の歴史を紐解いています。後に東急電鉄となった目黒蒲田電鉄と、後に吸収合併されてしまう池上電気鉄道との攻防など、鉄道会社の歴史を深く掘り下げています。



地図と鉄道省文書で読む
私鉄の歩み 関東1
東急・小田急
今尾恵介 白水社

『東急今昔物語 -前身会社から現代に至る東急の歴史を徹底紹介-』

宮田道一／著 戎光祥出版 2016年

趣味的な観点から、東急電鉄の開業時から現代までの歴史を、多くの写真を交えながら、わかりやすく紹介しています。東急電鉄OBの著者ならではの奥深い文章で読み応えがあります。



東急今昔物語
宮田道一
戎光祥出版

『東急東横線あるある』

寺井広樹／著 村神徳子／著 にゃほこ／画 TOブックス 2017年

通勤通学などで毎日のように乗っている方にも、あまり乗らない方にも、ちょっと気になる東急東横線の小ネタがギュッと詰まっている1冊。読んでみれば「そうだね!」とうなずいたり、「へえ〜そうだったんだ」と意外に感じたり、読む人それぞれ違う感じ方があるはず?



東急東横線あるある
寺井広樹・村神徳子
TOブックス

『東急電鉄 -街と駅の1世紀 東急電鉄 各駅今昔散歩 大正・昭和の街角を紹介-』

生田誠／著 アルファベータブックス 2015年

東急線各駅の昔と今を、写真で対比しています。昔の写真を見て「懐かしい」と思うか、意外に思うか。



東急電鉄
生田 誠
アルファベータブックス

『東急全線古地図さんぽ -懐かしい東急沿線にタイムトリップ-』

坂上正一／著 フォト・パブリッシング 2018年

様々な時代の地図を見比べることで、駅周辺の変わったところ、変わっていないところを探することができます。本書には載っていない現在の地図と見比べると、さらに楽しめるかも?



東急全線古地図さんぽ
坂上正一
フォト・パブリッシング

かわりゆくまち 川崎百景～さとう菊夫企画展～を終えて

「かわりゆくまち 川崎百景 ～さとう菊夫企画展～」を2019年1月29日から2月3日までタワーリパーク3F展示室で、川崎区誌研究会、川崎市文化財団と共同で開催しました。

今年は20数年から40年ほど前の川崎の四季、田園風景、名所、藁葺の民家等を描いてこられた、さとう菊夫さんの画集「川崎百景」を題材に、貴重な原画や資料、そして現在の風景写真を合わせて展示しました。展示物の設営に際しては、「川崎百景」を各区ごとに分けた上で現在の写真と容易に比較できるよう配置し、藁葺の民家の模型や絵はがき集等はガラスケースに並べ、来場者が見やすいよう工夫しました。連日大盛況であり、延べ500人以上の来場者数となりました。

アンケート結果によると「素晴らしい絵と写真をありがとう。」や「南部から北部へキャラバン企画展をお願いします。」「自分の生い立ち、時代の流れと重なり心安らぐひとときを過ごせた。」等、たくさんのさとう菊夫さんへの感謝の言葉が綴られていました。



「かわりゆくまち 川崎百景」展示風景

Colors, Future! いろいろブックフェアを開催しました

「iroiro」Book Fair

川崎市では障害の有無や国籍・文化・性別・年齢を超えてつながる、ゆたかで寛容なまちになるよう願いを込めて「Colors, Future! いろいろブックフェア 本でつながる川崎の多様性 ～次世代へのメッセージ～」を実施しています。図書館は、この事業の趣旨に賛同し、各館で企画展を開催しました。

第1回目は、ブランドメッセージが伝える多様性をテーマに開催しました。スペシャルイベント「絵本でビブリオバトル in アト



絵本でビブリオバトル in アトレ川崎



幸図書館

いろいろブックフェア 世界の昔ばなし

レ川崎～絵本で知るいろいろな世界～」を皮切りに、各図書館でiroiro (いろいろ) なテーマで特集コーナーを設置し、子どもから大人まで多くの方々にご覧いただきました。

第2回目は、「川崎市民100人の本フェア」と題して、川崎とつながりのある99人の幅広い世代・職業の方がセレクトした「いろいろブック」イベントを各図書館で開催しました。子どもが大好きな絵本や児童書から、学生、大人にまでおススメできる多



川崎図書館

iroiro Book Fair 展示風景



高津図書館

色で見る世界の美とふしぎ
展示風景



宮前図書館

100人の本フェア展示風景

彩な本が図書館にずらりと並びました。また、「まちかどライブラリー@さぎ沼」として、鷺沼駅前でも出張展示を行いました。ベストセラー本から初めて知る本などiroiroなセレクトに大きな反響があり、各図書館には、「新たな本との出会い」に喜びの声が寄せられました。ポップを書いてくださった方も、直接各図書館に足を運ばれ、お礼の声を頂戴しました。

今後も図書館は、新たな本との出会いを提供していきます。どうぞお楽しみに。



麻生図書館

100人の本フェア展示風景

読み聞かせボランティア「MENDORI」が 神奈川県図書館協会で功労者表彰

多摩図書館等で読み聞かせの活動をしている、読み聞かせボランティア「MENDORI」が神奈川県図書館協会で表彰されました。

1988年の設立以来、多摩図書館のおはなし会をはじめとして、小学校の授業での読み聞かせ、絵本ワークショップの開催、読み聞かせボランティア研修の運営、記念絵本展の開催など、地道に幅広い活動を展開してきました。

これからも団体の結束を更に図り、地域に密着した根強い活動を続けていけることでしょう。



図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めする1冊をご紹介します。

幸図書館日吉分館長 齊藤 実

■『チョコレート戦争』

大石 真 著

すずらん通りにある子どもたち憧れの洋菓子屋、金泉堂。ある日、小学生の光一と明がショーウィンドー越しに店の名物であるチョコレートの城を眺めていると、突然、目の前のガラスが割れ、その場に居合わせた光一がたまたまエアソフトガンを持っていたことから、お店の人に犯人扱いされてしまいます。2人は無実を訴えますが、信じてくれたのは桜井先生という若い女性の先生だけでした。悔しくてたまらない光一はチョコレートの城を盗み出す計画を立てますが、事件は光一の計画とは別に、思わぬ方向へ展開していきます。ショーウィンドーを割ったと一方的に決めつけられた子どもたちが大人たちと戦う物語は、テンポがよく、また、登場するキャラクターは個性にあふれ、ユーモラス。後半に続くどんでん返し展開にもハラハラドキドキさせられます。

『チョコレート戦争』は1965年の初版以来、多くの子どもたちに愛されてきた児童書の名作で、その後多くの版を重ね、1982年にはテレビドラマ化もされています。作者の大石真さんは、1925年12月8日生まれの昭和、平成時代を代表する児童文学作家です。作家への道を歩みはじめたきっかけは、第一早稲田高等学院に在学中に、坪田譲治氏が顧問を務めていた早大童話会に入会したことでした。早稲田大学卒業後は小峰書店に入社し、編集者として児童図書刊行に携わるかわら、創作活動をスタートさせました。昭和28年に『風信器』で児童文学者協会の新人賞を受賞したほか、昭和38年に短編

の『みえなくなったクロ』が小学館文学賞を受賞するなど、数々の賞を受賞しました。出版社退職後、作家活動に専念し、『チョコレート戦争』、『魔女のいる教室』など、200冊あまりに及ぶ作品を執筆しました。

私にとって『チョコレート戦争』は、それまでほとんど読書の習慣がなかった

当時小学校低学年だった息子への読み聞かせ用に購入したもので、今では懐かしい思い出となっています。好奇心が旺盛で、感性豊かな小学生の子どもたち。良いものに出会ったらどんどん吸収する小学生時代に、できるだけたくさん本を読んでほしい、できれば名作を読んでほしい、という思いは、多くの親御さんに共通する願いではないでしょうか。皆様のお子様の成長に合わせた本選びにお近くの市立図書館がお役に立てれば幸いです。



『チョコレート戦争』
大石 真／著 理論社

■幸図書館日吉分館

JR新川崎駅から徒歩15分。幸区役所日吉出張所の3階が日吉分館です。日吉地区は、加瀬山など豊かな自然があり、文化遺産や史跡など多くの歴史資産を有する地域です。

日吉分館は市立図書館の中でも絵本や児童書の割合が高く充実しており、ご利用者にもお子様連れの方が多く印象です。毎月第2・4月曜日（8月12日・12月23日はお休み）には2歳から4歳向け、第2金曜日・不定期金曜日（8月はお休み）には4歳から小学校低学年向けにボランティアが絵本の読み聞かせを行っています。また、毎月第3水曜日には4歳から小学生向けのストーリーテリングも行うなど、お子様の成長に合わせて、本の世界に触れ、読書の楽しさを知ってもらえるような働きかけに努めています。

近くにはレッサーパンダやペンギンに出会える無料の動物園「夢見ヶ崎動物公園」もありますので、ぜひ1度ご来館ください。

編集・発行 川崎市立中原図書館

〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)